

第5 流域下水道事業について

1 事業の概況

令和元年度の処理水量は、桂川右岸流域では5,611万9,000立方メートルとなっています。

木津川流域では4,741万4,000立方メートルとなっています。

宮津湾流域では433万7,000立方メートルとなっています。

木津川上流流域では863万5,000立方メートルとなっています。

処理水量の合計は、1億1,650万5,000立方メートルとなっています。

2 令和元年度予算の概要

令和元年度の予算は、収益的収支（税込み）においては、収入は管理費負担金68億5,152万円、他会計補助金7億1,695万円、長期前受金戻入73億7,625万円、その他収益2,982万円、合わせて149億7,454万円となっています。支出は、給与費5億5,890万円、減価償却費84億7,240万円、支払利息4億3,256万円、その他経費68億2,534万円、合わせて162億8,920万円となっています。

資本的収支（税込み）においては、収入は企業債27億3,800万円、出資金13億3,308万円、建設費負担金20億5,868万円、国庫補助金39億1,800万円、合わせて100億4,776万円となっています。支出は建設改良費74億2,293万円、企業債償還金26億2,483万円、合わせて100億4,776万円となっています。

令和元年度予算の実施計画は第16表のとおりであり、収益的収支構成比較は第5図のとおりです。

第 16 表

令和元年度流域下水道事業会計予算実施計画（税込み）

1 収益的収入及び支出
収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考	
1 流域下水道事業 収益	1 営業収益		14,974,537		
			6,881,119		
		1 管理費負担金	6,851,521	維持管理に係る市町負担金	
		2 その他営業収益	29,598	財産収入及び諸収入	
	2 営業外収益		8,093,418		
		1 受取利息	119	預金利息	
		2 他会計補助金	716,953	一般会計からの補助金	
		3 長期前受金戻入	7,376,246	固定資産減価償却費のうち補助金等相当額	
		4 雑収益	100		

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考	
1 流域下水道事業 費用	1 営業費用		16,289,202		
			15,509,623		
		1 管渠費	522,056	{職員給与費 11,068 \営業費 510,988	
		2 ポンプ場費	20,151	営業費	
		3 処理場費	6,334,528	{職員給与費 85,921 \営業費 6,248,607	
		4 総係費	160,490	{職員給与費 138,522 \営業費 21,968	
		5 減価償却費	8,472,398	固定資産減価償却費	
		2 営業外費用		456,194	
			1 支払利息	432,564	企業債利息
			2 消費税及び地方消費税	23,630	
	3 特別損失		323,385		
		1 その他特別損失	323,385	職員給与費	

2 資本的収入及び支出
収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			10,047,756	
	1 企業債		2,738,000	
		1 企業債	2,738,000	
	2 出資金		1,333,080	
		1 出資金	1,333,080	一般会計からの出資金
	3 負担金		2,058,676	
		1 建設費負担金	2,058,676	建設改良に係る市町負担金
	4 補助金		3,918,000	
		1 国庫補助金	3,918,000	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			10,047,756	
	1 建設改良費		7,422,929	
		1 管路建設費	659,000	
		2 管路改良費	120,000	
		3 ポンプ場建設改良費	2,735,000	
		4 処理場建設改良費	3,536,000	
		5 総 係 費	372,929	{職員給与費 269,582 事務費 103,347}
	2 企業債償還金		2,624,827	
		1 企業債償還金	2,624,827	

第 5 図 令和元年度流域下水道事業予算の収益的収支構成比較 (税込み)

